

プログラムの特色

高知赤十字病院内科専門研修プログラム

当院内科系には、消化器、循環器、呼吸器、血液、糖尿病、腎臓、リウマチ膠原病の専科があり、それぞれの専門医が互いに相談・協力しながら日常の外来・入院診療を行っています。そのため、幅広い視野とスキルを培う内科研修が可能であり、サブスペシャリティ領域を重視した専科単独の研修であっても臓器専門に著しく偏ることのない内科専門医となることが可能と考えます。

また、より高度な医療の研修を希望される専攻医には、連携施設である二つの国立大学病院での院外研修も可能となっています。一方、本プログラムは高知県内で健康管理、在宅医療から救急医療まで様々な医療分野を担っている施設と連携を組んでいるため、超高齢社会である高知県の医療事情に精通した専門医を育成します。研修終了後には、高知県全体の医療を支え、リーダーシップを発揮しうる内科医となることを期待します。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
午前	内科朝カンファレンス（各診療科）					担当患者の病態に応じた診療・オンコール 内科・救命救急センター日当直 講習会・学会参加
	健診部（診察・検査） 入院患者診察	入院患者診察 救命救急センター（オンコール）	入院患者診察 内科検査（各診療科）	入院患者カンファレンス（各診療科） 入院患者診察	入院患者診察 内科外来診察（総合）	
午後	入院患者診察	内科検査（各診療科）	入院患者診察	内科検査（各診療科）	入院患者診察	講習会・学会参加
	入院患者カンファレンス（各診療科）	内科合同カンファレンス・抄読会	講習会・CPC・地域参加型カンファレンスなど	入院患者診察	救命救急センター（オンコール）	
担当患者の病態に応じた診療・オンコール（内科・救命救急センター当直など）						

取得可能専門医

- 日本内科学会専門医
 - 日本糖尿病学会専門医
 - 日本腎臓学会専門医
 - 日本リウマチ学会専門医
 - 日本循環器学会専門医
 - 日本消化器病学会専門医
 - 日本消化器内視鏡学会専門医
 - 日本呼吸器学会専門医
- 他、当院ホームページ参照

キャリアパス

卒後年数	内科専門研修プログラム専攻医		内科専門医		サブスペシャリティ専門医	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1年	初期臨床研修期間					
2年	高知県下の研修病院	高知赤十字病院				
3年			高知赤十字病院			
4年				野市中央病院 土佐市民病院 幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか		
5年					高知赤十字病院	
6年						高知赤十字病院 ※国内留学等
7年						
8年						
9年						
10年						
11年						
12年						
13年						
14年						
15年						
16年						
17年						

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※実際の勤務先については都度、受け入れ施設及び県と相談



専門研修 HP
https://www.kochi-med.jrc.or.jp/kensyu/specialized.htm

お問い合わせ
〒780-8562 高知県高知市秦南町1丁目4番63-11号
日本赤十字社 高知赤十字病院 総務・人事課
TEL: 088-822-1201 FAX: 088-822-1056
Mail/ kensyu@kochi-med.jrc.or.jp

Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

A 上司である有井先生に憧れたことがきっかけです。学生の時の見学で救急部の先生が研修医に熱心に指導されている姿を見て、これは勉強になると思い志望しました。実際、各科の垣根がなく、どの科であっても気軽にコンサルト出来て臨床経過も追えるのはいいです。またコメディカルとも気軽に話し合えて職場の雰囲気は極めて良好ですね。

Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 高知赤十字病院で初期臨床研修を終え、同院で糖尿病・腎臓内科に入り、後期研修医として3年目以降も当院に残りました。卒後6年目の2014年の夏に、当院に在籍している形で聖路加国際病院のアレルギー・膠原病科に国内留学をし、帰ってきてからは引き続き当院の糖尿病・腎臓内科で研鑽をつみ、新設されたリウマチ科では関節リウマチを中心に膠原病診療も行い、直近ではリウマチ専門医及び指導医、そして腎臓専門医及び指導医も取得。また、ICDを別途取得し、現在は抗菌薬適正使用支援チームのリーダーとして、各診療科の先生方と連携し感染

高知赤十字病院 内科



DR. 辻に
聞きました！
キャリアについて
教えて！

糖尿病・腎臓内科
辻 和也 DR.
tsuji kazuya

Profile
出身大学／高知大学
初期研修病院／高知赤十字病院
卒後何年目／16年目
専門分野／リウマチ・
膠原病・糖尿病・腎臓



症診療も行っています。また、研修医の時に気管支鏡に興味を持ち、現在まで毎週呼吸器内科の先生方と共に検査をさせていただいており、非専門の領域でもこのような体制を取れるという点は当院ならではの点だと思います。将来的には専門医の取得も視野に、引き続き励んでいきます。

また、本県は南海トラフ地震の懸念があり、2022年に日本DMAT隊員の資格も取得。様々な領域で勉強させていただけるのも当院の魅力と考えます。

2021年4月からは当科での内科専門研修プログラムで向上心に溢れた専攻医が研修に励んでいます。指導医として全力でサポートすると共

Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A 「オン・オフをしっかりして、家庭を大切に」という上司からの素敵すぎる言葉を格言にして、休日は極力子供と過ごすようにしています。また運動会などのイベント時には後輩

Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A 当院は主治医制であり、後期研修医となって責任が出てきた時に、患者さんの小さな変化や訴えに耳を傾け、色々と自分で調べて、良い意味で困ることは、必ず将来の自分の糧となると思いますので、皆さん頑張ってください。

Q 私が休暇をとれるように協力してくれて非常に助かっています。また後輩も休暇が取りやすいように積極的に発言出来る雰囲気作りを行い、科内の雰囲気や仲が良いことは当科の特徴の一つです。

プログラムの特色

高知赤十字病院救急科専門医育成研修プログラム

本研修プログラムの目的は、「地域住民の救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本研修プログラムを修了した救急科専門医は、急病や外傷の種類や重症度に応じた総合的判断に基づき、必要に応じて他科専門医と連携し、迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めるためのコンピテンシーを修得できるようになります。

また、急病で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合、あるいは外傷や中毒など外因性疾患の場合は、初期治療から継続して根本治療や集中治療においても中心的役割を担うことが可能となります。さらに地域ベースの救急医療体制、特に救急搬送(プレホスピタル)と医療機関との連携の維持・発展、加えて赤十字の使命である災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
午前	ICUカンファレンス					
午後	救急外来またはICU ※宿日直(救外またはICU)あり					
	申し送り、症例検討会等					

取得可能専門医

- 日本救急医学会専門医
- 日本外傷学会専門医
- 日本呼吸療法医学会専門医
- 日本腹部救急医学会認定医
- 日本集中治療医学会専門医

キャリアパス

卒業年数	救急専門研修プログラム専攻医		救急科専門医		サブスペシャリティ専門医												
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
研修施設名	高知県下の研修病院		高知赤十字病院		高知赤十字病院		幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか		高知赤十字病院		高知赤十字病院 ※国内留学等						
診療以外のキャリア	-	-	幡多けんみん病院、 あき総合病院、 くほかわ病院のいずれか				幡多けんみん病院、 あき総合病院のいずれか										
償還期間 消化年数	1年	2年	4年		4.5年	6年	8年		-		9年		-				

(高知県医師養成奨学貸付金受給者の例)

※実際の勤務先については都度、受け入れ施設及び県と相談



専門研修 HP
https://www.kochi-med.jrc.or.jp/
kensyu/specialized.htm

お問い合わせ

〒780-8562 高知県高知市秦南町1丁目4番63-11号
日本赤十字社 高知赤十字病院 総務・人事課
TEL: 088-822-1201 FAX: 088-822-1056
Mail/ kenshu@kochi-med.jrc.or.jp

高知赤十字病院 救急科

DR. 柴田に
聞きました!
キャリアについて
教えて!

麻酔・集中治療部

柴田 やよい DR.

shibata yayoi

Profile

出身大学/高知大学
初期研修病院/高知赤十字病院
卒後何年目/16年目
専門分野/麻酔、集中治療、救急



Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

A 救急を選んだのは、広く全身を診ることが出来るようになったからです。当院では、各科の先生やコメディカルの方々との距離が近く、働きやすいと思います。

Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 初期研修修了後、高知赤十字病院救急部後期研修医として4年間、その後スタッフとなり現在に至ります。5年目麻酔科標榜医・認定医取得、7年目に救急科専門医を取得、10年目に麻酔科専門医を取得しました。その他、経食道心エコー認定医、ICLSインストラクター、ディレクターを取得。10年目と12年目に産休及び育休を取得しました。そして、復帰後の13年目に集中治療専門医を取得することが出来ました。今後は、仕事も家庭も大切に働きたいです。

Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A 救急部はオンオフがはっきりしているもので、休みはしっかり取得できます。休みは子供と遊んだり、音楽を聞いたり、読書したりしています。長期休暇は温泉など旅行に行きます。

Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A 今の時代、地方だから最新の知識が得られない、技術が習得できないということはありません。どこにいても自分の気持ち次第で多くのことを学べます。高知県でのびのびと研鑽を積みましよう!